

## 第4回那賀川総合土砂管理技術検討会

### 【総合土砂管理の今後の進め方】

令和2年2月18日

那賀川総合土砂管理検討協議会

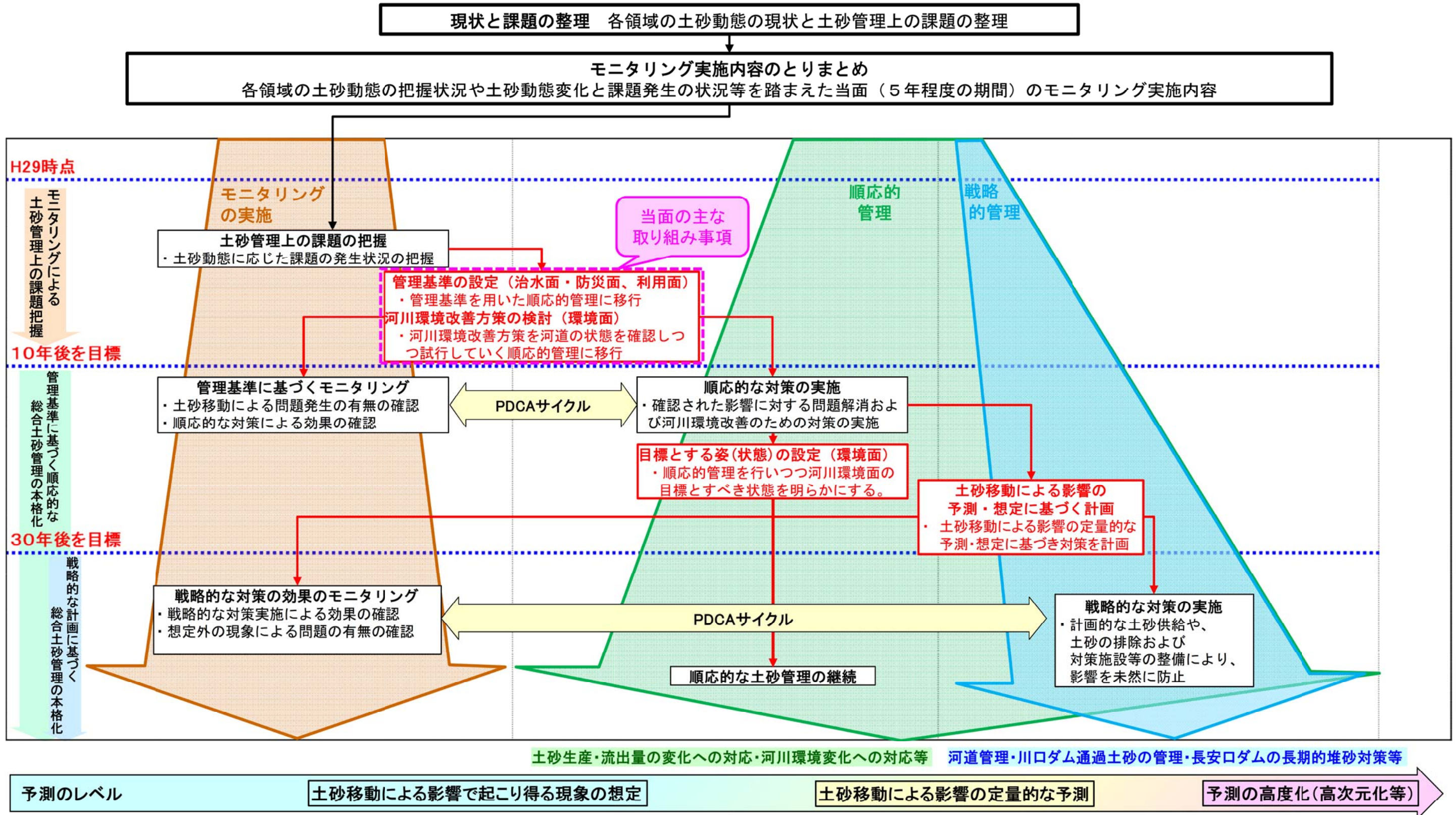
## 目 次

1. 総合土砂管理に関する検討の今後の進め方	1
2. 当面（令和2年度から数年程度の期間）の実施事項（案）	2
3. 総合土砂管理関係ロードマップ（案）	3

# 1章 総合土砂管理に関する検討の今後の進め方

- 那賀川における総合土砂管理では、各領域の技術的知見の蓄積や対策方法の確立の状況に応じて、順応的管理から戦略的管理へと、順次土砂管理の高度化を図るものとしている。
- 当面の期間は、治水面・防災面、利用面における管理基準の設定と、河川環境改善方策の検討に取り組むこととしている。

順応的管理: 土砂移動による影響で起こり得る現象を予測し、管理基準を定めてモニタリングにより確認しつつ、確認された影響に対して問題解消のための対策を実施していく管理方法  
 戦略的管理: 土砂移動による影響の定量的な予測を行った上で、計画的な土砂供給、土砂の排除、対策施設等の整備により、影響を未然に防ぐ管理方法

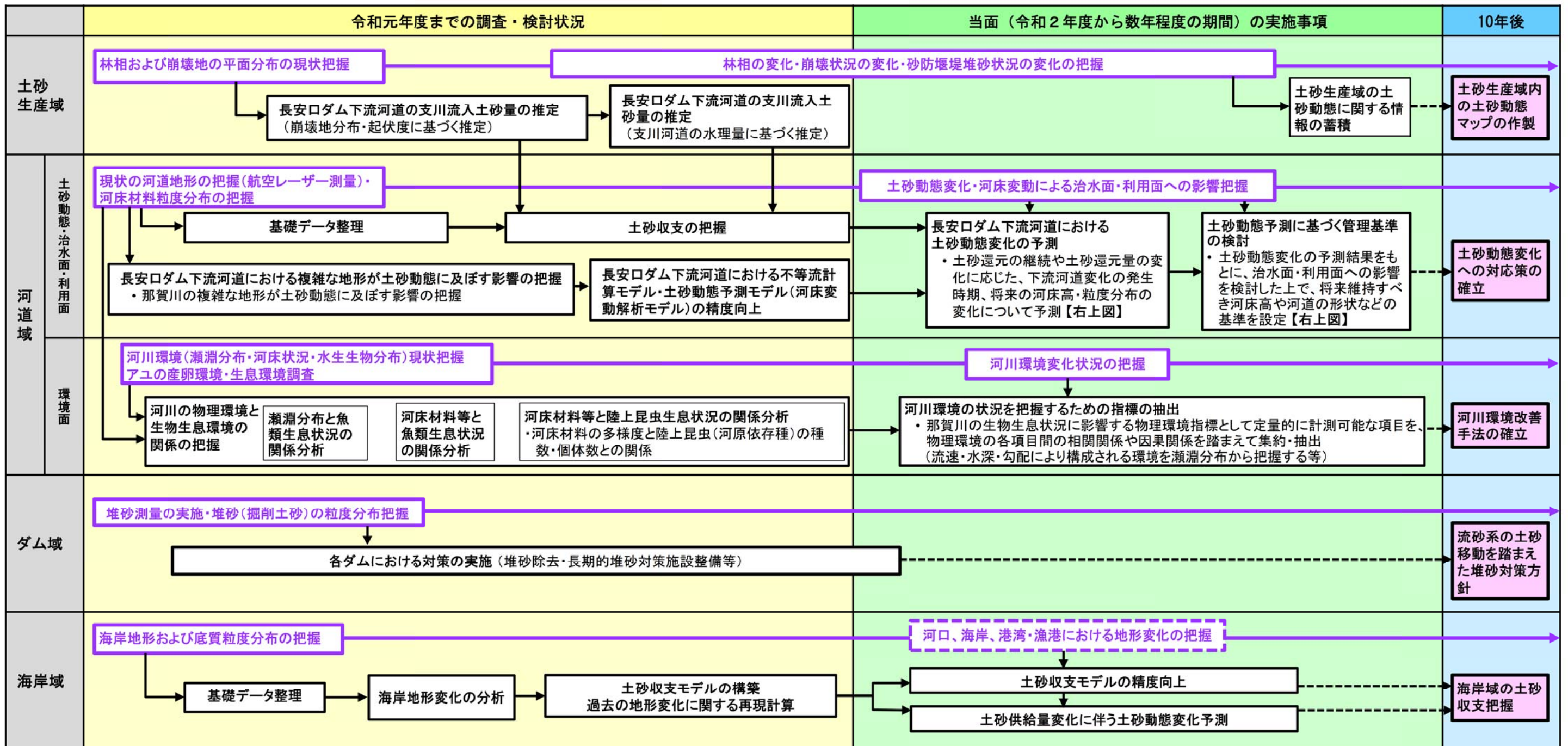
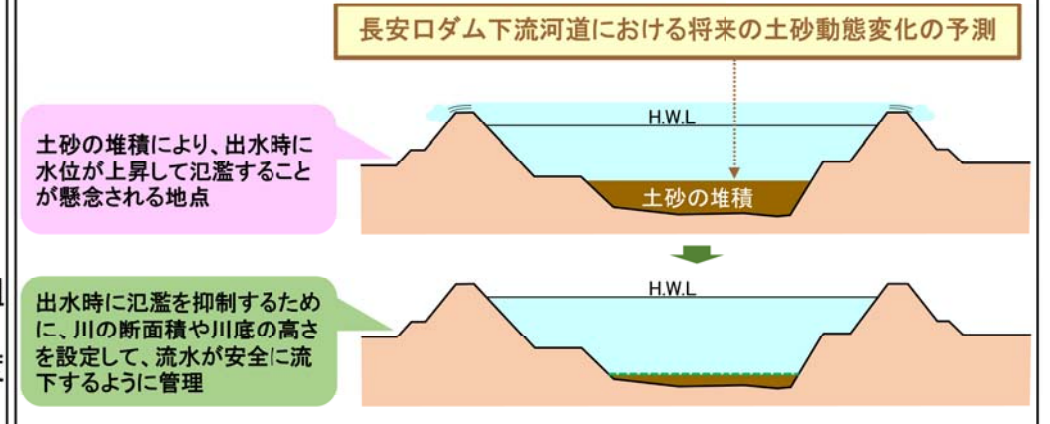


## 2章 当面（令和2年度から数年程度の期間）の実施事項（案）

● 治水面・防災面、利用面における管理基準の設定と、河川環境改善方策の検討に向けた各領域の取り組み課題として以下の項目が挙げられる。

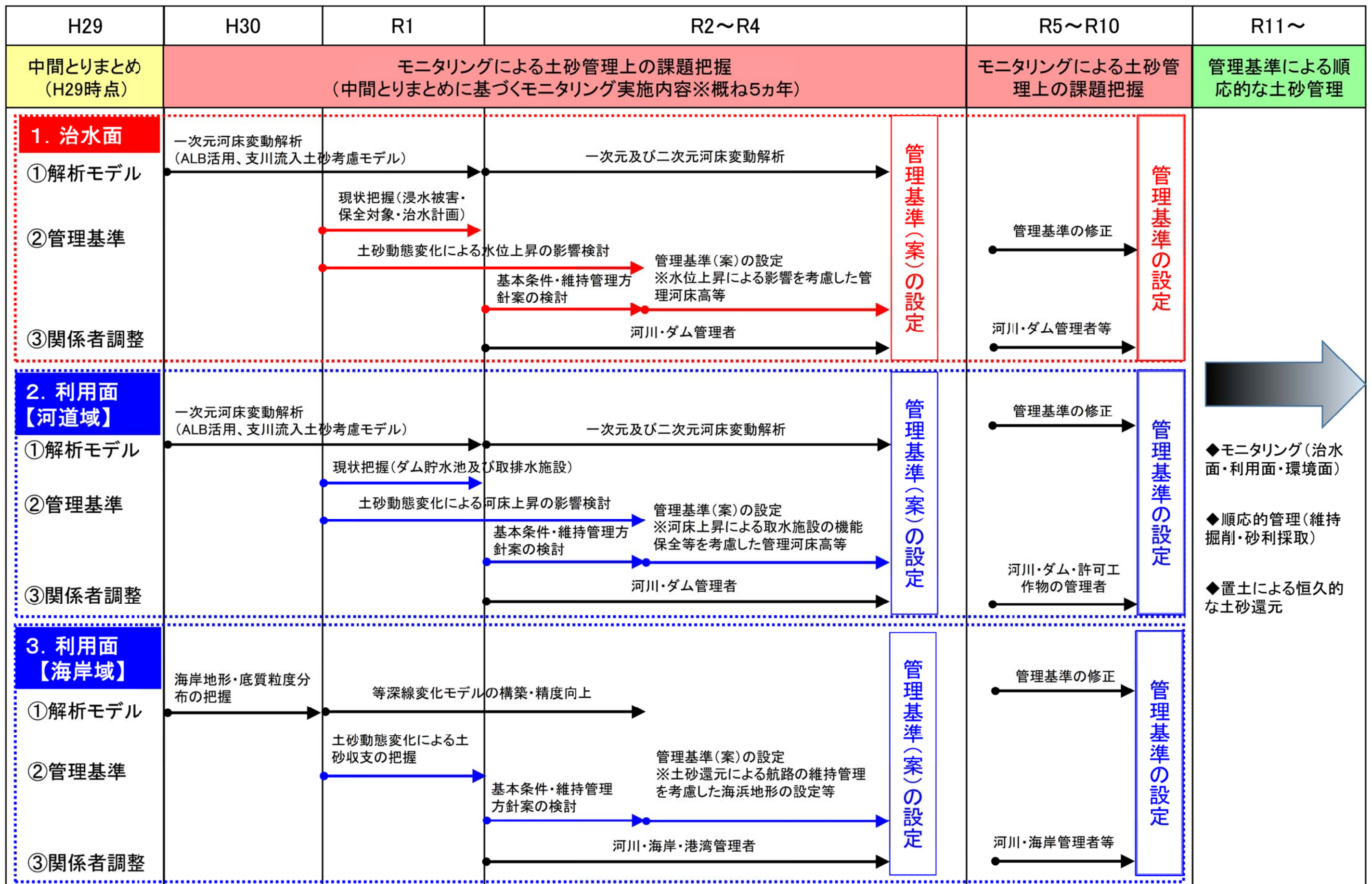
- 土砂生産域** ・ 林相の変化・崩壊状況の変化・砂防堰堤堆砂状況の変化等のモニタリングによる土砂生産域の土砂動態に関する情報の蓄積。
- 河道域** ・ 管理基準の設定に向けた土砂動態予測および治水面・利用面への影響把握。  
・ 治水面・利用面に係る管理基準の設定と、管理基準を用いた管理手法・対策手法に関する検討。  
・ 河川の物理環境と生物生息環境の関係の分析による、河川環境の状況を把握するための指標の抽出、およびその検討過程における目標とする姿(状態)と河川環境改善手法として考え得る案の抽出。
- ダム域** ・ 各ダムで実施している堆砂除去による貯水容量の順応的な管理の継続、および長期的堆砂対策への取り組みによる堆砂対策の高度化。
- 海岸域** ・ 土砂収支モデルの精度向上および土砂供給量変化に伴う土砂動態変化予測による、将来の土砂管理の高度化に向けた河口～海岸域における土砂動態の把握。

管理基準設定のイメージ(治水面の例)



□ : モニタリングによる実施事項 (破線は状況に応じて実施)    □ : 調査・検討過程

## 総合土砂管理関係ロードマップ (案)



## 総合土砂管理関係ロードマップ（案）

